

障害者スポーツ

スタンプショウ2014・第15回トピカル切手展 金銀賞受賞作品

国立大学法人 筑波技術大学 保健科学部鍼灸学専攻 大沢秀雄

本作品は2014年4月25日～27日に都立産業貿易センター浜松町館(東京都港区)で開催されたスタンプショウ2014・第15回トピカル切手展(主催:公益財団法人日本郵趣協会)に出品し、金銀賞を受賞した切手展作品である。

作品は32リーフの構成となっている。用紙はレータサイズである。

本作品は切手展のために作成したものである。そのため、視覚障害者が合成音声によって読むことが難しい。そこで、本作品の作品解説を含め、障害者スポーツに関する切手の概説を以下に投稿したので、併せて参照されたい。

障害者スポーツに関する切手(大沢秀雄)

筑波技術大学テクノレポート22巻1号、96-103、2014

<http://www.tsukuba-tech.ac.jp/repo/dspace/handle/10460/1282>

なお、本PDFファイルは実際に出品した作品を基にPDFファイル用に再構成したものであり、実際の切手展に出品した作品リーフと一部、異なる個所がある。

★本作品を紙媒体で印刷した場合の注意事項

未使用の切手画像を紙の媒体にカラーで印刷した場合、郵便切手類模造等取締法に触れる恐れがあるため、ご留意下さい。

障害者スポーツ



長野パラリンピック(1998)、バイアスロン(視覚障害クラス)の金メダリスト小林(現・井口)深雪選手のサイン入りFDC。長野パラリンピック以降、我が国の障害者スポーツに対する理解が高まった。

障害者スポーツは身体障害や知的障害などの障害がある人が行うスポーツのことである。

全日本切手展2012出品した「パラリンピック」(1フレーム、銀賞)にパラリンピック以外の身体障害者スポーツの郵趣マテリアルを追加すると共に、聴覚障害者のデフリンピック、知的発達障害者のスペシャルオリンピックスの郵趣マテリアルを加えて、障害者スポーツ全体を示す作品にした。

本作品によって、障害者スポーツに対する理解がさらに深まれば幸いである。

プラン

タイトル	1
1. 障害者スポーツの始まり	2
2. クラス分類と競技種目	3~4
3. 夏季パラリンピック	5~3
郵便物の発行がある第2回東京大会より第14回ロンドン大会までを示す。	
4. 冬季パラリンピック	14~18
郵便物の発行がある第2回ヤイロ大会より第11回ソチ大会までを示す。	
5. 国際大会	
5-1 フェスピック及びアジアパラ競技大会	19~21
5-2 コモンウェルスゲームズ	22
5-3 その他の国際大会	23~24
6. 日本国内の大会	
6-1 身体障害者スポーツ大会	25~26
6-2 全国障害者スポーツ大会	27
7. デフリンピック	28~30
8. スペシャルオリンピックス	
8-1 夏季スペシャルオリンピックス	31
8-2 冬季スペシャルオリンピックス	32

1-1 第二次世界大戦

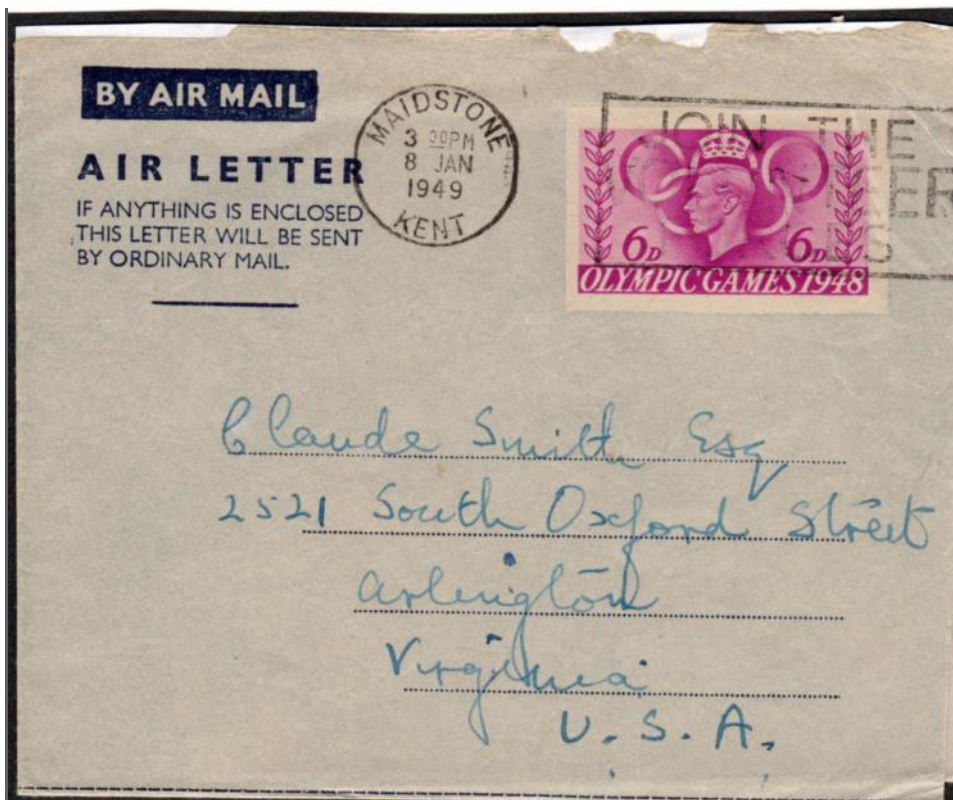
第二次世界大戦によって連合国・枢軸国合わせて約4000万人もの大量の戦死・戦傷者が生じた。



第二次世界大戦の戦傷者。左が失明者、右が運動機能障害者。タブは戦傷者の守護聖人のセント・セバスチャン。戦傷者救済寄付金付き切手。8面小型シートの左下部分。プログレッシブ・プルーフ(クロアチア、1944)

1-2 ストーク・マンデビル競技大会

1948年7月、ロンドン・オリンピックの開会式当日にストーク・マンデビル病院脊髄損傷センターのL.グットマンが第二次世界大戦の戦傷者の脊髄損傷患者を集めてスポーツ大会を開催した(パラリンピックの起源)。

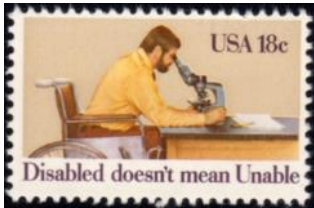


ストーク・マンデビル病院脊髄損傷センター37周年の記念印。本施設は第二次大戦中の1944年に戦傷者の治療のために設立。

ロンドン・オリンピック記念エログラム
実郵便 MAIDSTONE, 1949.1.8 →USA

2-1 クラス分類

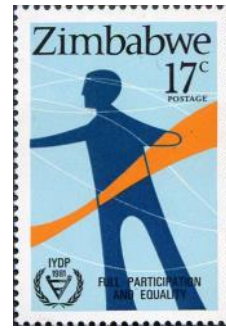
オリンピックと違いパラリンピックには障害の度合いに応じた階級が存在する。例えば、肢体などの障害の場合は「LW」や「LC」等の競技ごとの記号+度合いを数字で表す。障害種は「運動機能障害」「脳性麻痺」「切断など」「視覚障害」がある。



車椅子
アメリカ(1981)



片下肢切断者
ジンバブエ(1981)



片上肢切断者
ジンバブエ(1981)



視覚障害者
ジンバブエ(1981)

2-2 種目(夏季大会)

現在、パラリンピック夏季大会は以下の20競技が行われている。冬季大会は5競技が行われている(後述)。陸上競技、水泳、車いすテニス、ボッチャ、卓球、柔道、セーリング、パワーリフティング、射撃、自転車、アーチェリー、馬術、ゴルフボール、車いすフェンシング、車椅子バスケットボール、視覚障害者5人制サッカー、脳性麻痺者7人制サッカー、ウィルチェアラグビー、シットイングバレーボール、ボート



車椅子陸上レース
額面1500の点字エンボス
インドネシア(2008)



切手:車椅子陸上、車椅子アーチェリー。1 LK KL(第1種)の点字エンボス。 小型シート上部余白:左より、ゴルフボール、視覚障害者柔道、視覚障害者自転車。フィンランド(2012)



円盤投げ・下肢切断者
IPC陸上競技世界選手権
チュニジア(2002)



円盤投げ・上肢切断者
国際障害者年
アンティグア(1981)

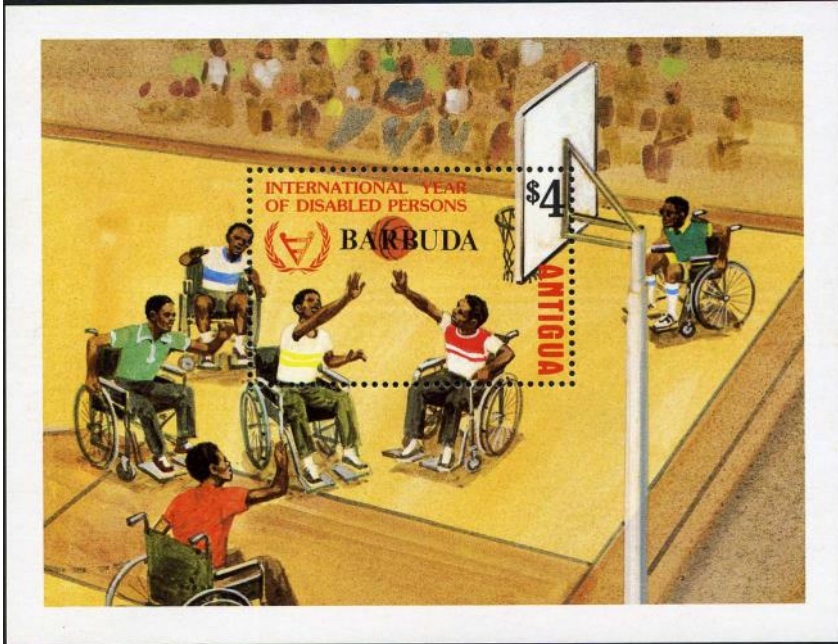


槍投げ(車椅子)
国際障害者年
東ドイツ(1981)



アーチェリー(車椅子)
国際障害者年
ザール(1981)

2-2 競技種目(続き)



車椅子バスケット、国際障害者年、アンチグア(1981)



車椅子卓球のパラリンピックメダリスト、イローナ・パウリック・サスバリニを描く。初日記念印:車椅子の卓球、ハンガリー(2006)



アーチェリー(車椅子)
国際障害者年
ニジェール(1981)



アーチェリー(車椅子)
国際障害者年
ボツワナ(1981)



車椅子フェンシング、初日記念印:車椅子
障害者スポーツ、ベルギー(1977)



車椅子テニス
フェスピック
ベトナム(1997)



車椅子テニス
ゴールデンハートチャリティ
無目打、ベトナム(1991)



シットイング
バレーボール
フィンランド(1970)



ボッチャ
アイルランド(1996)

1960年、ローマで第1回国際ストック・マンデビル大会が開催され、参加者は脊髄損傷者のみであった(本大会は後に第1回夏季パラリンピックと認定)。パラリンピックの名称は1964年の東京大会から使われ始め、1985年に国際オリンピック委員会は、パラリンピックという呼称を用いることを正式に認めた。

3-1 第2回東京大会(1964)



第1部は国際ストック・マンデビル大会として、第2部は全身体障害者を対象にした日本人選手だけの身体障害者スポーツ大会として行われた。



松葉杖と聖火(初日記念印も同様)。パラリンピックの1番切手。アルゼンチン(1964)

←東京オリンピックの小型シートに国際身体障害者スポーツ大会の小型印と開催地の渋谷局の風景印。主会場は国立屋内総合競技場(40円)

3-2 第3回テルアビブ大会(1968)

第17回国際ストック・マンデビル競技大会として開催。オリンピック開催地メキシコ・シティでの開催をメキシコ政府が反対したことから、イスラエル政府がテルアビブで開催することを承諾した。

車椅子バスケットシート・マージン:
大会のロゴマーク。
イスラエル(1968)



3-3 第4回ハイデルベルク大会(1972)

オリンピックの開催地・ミュンヘンと同一国内で開催された。

車椅子アーチェリー。開催地ハイデルベルクの初日記念印。西ドイツ(1972)



3-4 第5回トロント大会(1976)

正式名称はTORONTOLYMPIAD。国際ストークマンデビル競技連盟と国際身体障害者スポーツ連盟の共催となり、初めて切断者と視覚障害者が参加した。同一国内のモントリオールでオリンピックが開催。



車椅子アーチェリー
初日記念印:大会のロゴマーク
カナダ(1976)

3-5 第6回アーネム大会(1980)

正式名称はOLYMPICS FOR THE DISABLED HOLLAND '80。モスクワ・オリンピックを西側諸国はボイコットしたが、本大会は参加した。本大会では脳性まひ者の参加が認められた。



上肢切断者の
円盤投げ
インドネシア
(1976)



車椅子バスケットのプレーヤーとコート(寄付金付き切手)。初日記念印:大会のロゴ。オランダ(1980)

3-6 第7回ニューヨーク・アイレスベリー大会(1984)

当初はアメリカ・ニューヨーク州とイリノイ州で開催する予定だったが、半年前になって財政難のため、イリノイ州での開催は不可能になってしまった。そのため、国際ストークマンデビル競技連盟が受け皿となって、アイレスベリーにあったストークマンデビル病院で脊髄損傷者の大会を開催することになった。

ニューヨーク大会の記念印。大会のロゴマークが描かれる。実通による機械印による二重押印。

アイレスベリー大会の記念切手・記念印の使用はなかった。



3-7 第8回ソウル大会(1988)

「パラリンピック」が初めて大会の正式名称として使用された。東京パラリンピック以来、オリンピックとパラリンピックの開催都市が同一になった。また、オリンピック(ソウルオリンピック)で使用した施設をそのまま使用した。車椅子テニスが公開競技として実施された。



大会のマスコット 韓国(1988)



封筒裏面(20%)

車椅子アーチェリーと大会のロゴ(切手上部)。初日記念印:大会のロゴ。FDC(実郵便)

3-8 第9回バルセロナ大会(1992)

過去最大規模の障害者のスポーツ競技大会となり、9月3日の開会式には65,000人の観客が集まり、数百万人の視聴者がテレビを通じて開会式を楽しんだ。487のクラス競技が行われ279の世界記録が樹立された。バレーボールと車椅子バスケットボールに満員の観衆が集まった。



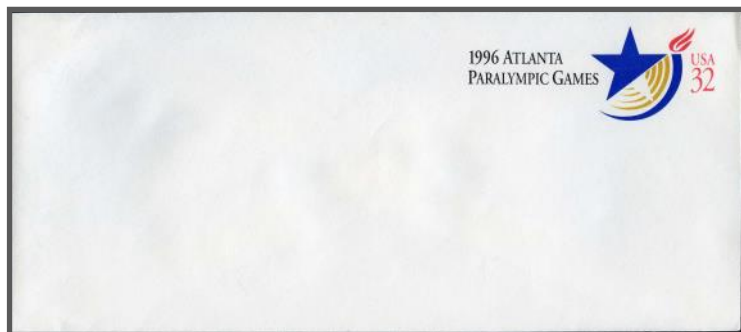
車椅子バスケット。初日記念印:車椅子バスケット スペイン(1992)



英国パラリンピック協会の旗。ロイヤルベルファスト小児病院の初日記念印。イギリス(1992)

3-9 第10回アトランタ大会(1996)

104か国・地域から3,259名の選手が参加した。デモンストレーション競技として、ラケットボールとセーリングが行われた。日本からは選手81名、役員42名の合計123名が参加した。



切手付封筒の全景(40%)実寸242×105mm



切手付封筒の印面部分。大会のロゴマーク。アメリカ(1996)



車椅子の陸上競技。レーサーと呼ばれる軽量かつ空気抵抗の低減を配慮したフレーム形状の専用車椅子を使用。アイルランド(1996)



近代オリンピック100年記念(FDC)の3種セット中にアトランタ・パラリンピックの記念切手が含まれる(右、車椅子の陸上)。オーストラリア(1996)



アトランタ・パラリンピックの小型シート。シートマージンに開会式、ゴールボール、卓球、車椅子フェンシングが描かれる。香港(1997)



記念印。車椅子バスケットアルゼンチン(1996)

3-10 第11回シドニー大会(2000)

過去最大の122か国・地域から3,881名の選手が参加した。セーリング、車椅子ラグビーが初めて正式競技として行われた。知的障害の競技が正式種目として行われた。しかし、スペインが知的障害者バスケットボールチームに健常者選手を潜り込ませて金メダルを獲得していたことが露見し、本大会後、知的障害者の種目はパラリンピックから外された。

FDC、左より車椅子テニス、
上肢切断者のトラック競技、
車椅子バスケット、視覚障害者の自転車(タンデム)、四肢切断者の砲丸投げ。
初日記念印:大会のロゴ



開催国オーストラリアはパラリンピック記念切手で、過去、最多の種類を発行した。



シドニー・パラリンピックで金メダルを7個獲得したSIOBHAN PATON。女子水泳(S14)。初日記念印:国際パラリンピック委員会のロゴ



パラリンピックの聖火は開会式会場のオリンピック・スタジアムに開会式当日の10月18日に到着した(切手発行日)。
(左)大会のロゴ、(右)聖火ランナー。初日記念印:大会のロゴ

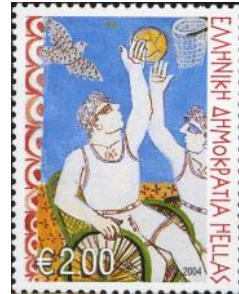
車椅子トラック競技
寄付金付き切手
ベルギー(2000)



車椅子バスケット
イタリア(2000)

3-11 第12回アテネ大会(2004)

135か国・地域から3,808名の選手が参加。新種目として、視覚障害者を対象とした5人制サッカーと女子柔道、シッティングバレーボール女子、車椅子テニス・クワッドクラスが加わる。最多となる52個のメダルを獲得し、競泳の成田真由美は金7、銅1のメダルを獲得し本大会での最多メダル獲得選手となった。



開催国ギリシア(2004)発行の4種セット。左より、馬術、陸上、車椅子バスケット、車椅子アーチェリー。ギリシャの芸術家A.ファシアノス(1935~)のデザイン。



シッティングバレーボール
イラン(2004)



車椅子テニス、初日記念印、寄付金付き切手、ドイツ(2004)



槍投げ
(下肢運動障害)
左下肢に装具

初日記念印:
国際パラリンピ
ク委員会のロゴ
チェコ(2004)



上肢切断者の水泳競技(0.30€)
車椅子の陸上競技(0.45€)
上肢切断者の自転車(0.56€)
下肢切断者の短距離競技(0.72€)
初日記念印: 大会のロゴ
ポルトガル(2004)

3-12 第13回北京大会(2008)

146か国・地域から3,951名の選手が参加。ボートが正式競技に加わった。本大会からパラリンピック組織委員会がオリンピック組織委員会に統合され、オリンピック組織委員会が運営する初めてのパラリンピックとなった。



(左)大会の記章
(右)大会マスコットの福牛樂樂

Beijing 2008の点字
エンボス(紫外線硬化樹脂による点字)

初日記念印:大会の記章



義足と万里の長城が描かれる。
初日記念印:車椅子の陸上競技
スロバキア(2008)



車椅子アーチェリー
初日記念印:アーチェリーの的
チェコ(2008)



通信面
(50%)

北京パラリンピック・閉会式の記念絵葉書
左に点字エンボス(紫外線硬化樹脂)

3-12 第14回ロンドン大会(2012) (1)

シドニーパラリンピック以来、3大会ぶりに知的障害者が出場する競技が復活した。20競技503種目に初参加の北朝鮮などを含む史上最多の164の国と地域から約4,280人の選手が参加した。



開催国イギリス発行のロンドンオリンピック・パラリンピックの記念切手(第1次、2009、FDC)。1~3次まで発行され、各次10種のうち、オリンピック競技が7種、パラリンピック競技が3種発行されている。パラリンピック競技はアーチェリー(上段)、ボッチャ(上段)、馬術(下段)が採用されている。



卓球
第2次、2010



ゴールボール
第2次、2010



ボート
第2次、2010



車椅子テニス
第3次、2011



ウェルチェアーラグビー
第3次、2011



セーリング
第3次、2011

3-12 第14回ロンドン大会(2012) (2)



大会のマスコット
ロンドンオリンピック:
ウェンロック
ロンドンパラリンピック:
マンデヴィル
切手帳
左: ペーン裏表紙に大会の日程が記載
イギリス(2012)



車椅子陸上レース
ナミビア(2012)



車椅子陸上レース
セルビア(2012)



国連郵政はロンドンパラリンピックに先立ち(2012.8.17)、特殊切手を発行。
FDC

- 上段: 国連ニューヨーク本部
 - 左: ゴールボール(記念印も)
 - 右: シットイングバレーボール
- 中段: 国連ジュネーブ事務所
 - 左: 陸上競技(記念印も)
 - 右: アーチェリー
- 下段: 国連ウィーン事務所
 - 左: 車椅子バスケット(記念印も)
 - 右: 卓球

4. 冬季パラリンピック

障害者スポーツ

身体障害者の冬季競技は、第2次大戦で負傷した軍人を中心に広まった。アルペンスキーは、片下肢切断者のために考案された「3トラック・スキー（1本のスキーと2本のアウトリガーで滑るスキー）」によって切断者のアルペンスキー人口を増加させた。クロスカントリーは、ノルウェーの視覚障害者を中心に普及がはじまった。パラリンピック冬季大会は1976年にエーンシェルドスピーク（スウェーデン）で第1回大会が開催された。

4-1 第2回ヤイロ大会(1980)

ノルウェーのヤイロで開催。正式名称は第2回国際身体障害者冬季競技大会。18か国から350名の選手が参加。アルペンスキーとノルディックスキーの2競技が行われた。



記念印(ヤイロ、1980.2.4)
大会のロゴマークが描かれる。記念切手の発行は無く、記念印の使用のみ。

4-3 第4回インスブルック大会(1988)

第3回に続いてインスブルックで開催された。正式名称は第4回国際身体障害者冬季競技大会。22か国から397名の選手が参加した。バイアスロン競技が採用された。



アイススレッジスピードレース
寄付金付き切手
オーストリア(1988)

4-2 第3回インスブルック大会(1984)

正式名称は第3回国際身体障害者冬季競技大会。21か国から457名の選手が参加。競技種目にアイススレッジスピードレースが新たに加えられた。初めて冬季パラリンピックの記念切手が発行された。



3トラック・スキーのアルペン競技と大会のロゴ。
寄付金付き切手
black print
オーストリア(1984)



上段:第3回国際身体障害者冬季競技大会の記念切手とその初日記念印(1984.1.3)。
下段:同大会の記念印(1984.1.13)。大会のロゴ

4. 冬季パラリンピック

障害者スポーツ

4-4 第5回アルペールビル大会(1992)

正式名称はティエヌ/アルペールビル1992
パラリンピック冬季競技大会。
冬季パラリンピックで初めて冬季オリン
ピックと同一都市で開催された。24か国
から475名の選手が参加した。

切手・初日記念印:大会のロゴ
パリ, 1991.12.6
(切手発行日は12.7)



大会初日の記念印、アルペンスキー
ティエヌ, 1992.3.25

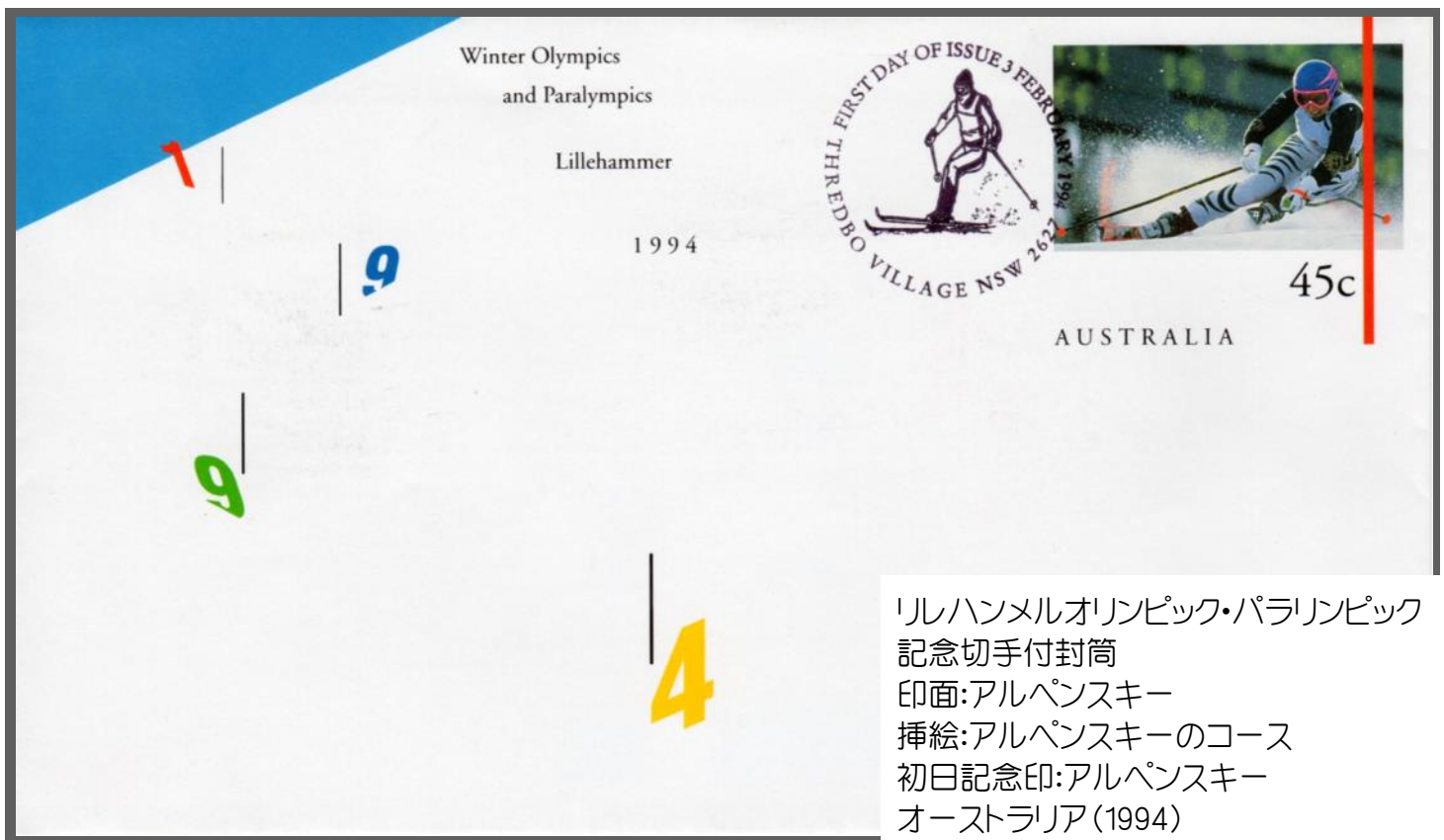
4-5 第6回リルハンメル大会(1994)

夏季大会と2年ごとに隔年開催のため前大会の2年後に開催。31か
国から492名の選手が参加。アイススレッジホッケー加えられた。



(左) アルペンスキー、
(右) ノルディクスキー
ノルウェー(1994)

アルペンスキー
初日記念印:五輪旗
ドイツ(1994)



リルハンメルオリンピック・パラリンピック
記念切手付封筒
印面:アルペンスキー
挿絵:アルペンスキーのコース
初日記念印:アルペンスキー
オーストラリア(1994)

4-6 第7回長野大会(1998)

アジアで初めて開催された冬季パラリンピック。32か国・地域から571名の選手が参加した。約15万人が大会を観戦、1,468名のメディア関係者により報道され、冬季大会としては過去最高の盛り上がりを見せた。この大会を機に、日本国内で「パラリンピック」の知名度が劇的に上がった。



長野大会の小型印、長野中央、(左)アイススレッジスピードレース、(右)アイススレッジスホッケー。
台切手は長野パラリンピック記念(1998)



台切手:アルペンスキー(チェアスキー)の競技
記念印:アルペンスキー(チェアスキー)
ボン、1998.3.5。台切手の初日記念印ではなく、
長野パラリンピック開会式当日の記念印。

4-7 第8回ソルトレイクシティ大会(2002)

初めてオリンピックとパラリンピックが同じ組織委員会となった。36か国・地域から416名の選手が参加。中国、クロアチア、ギリシアの3か国が初参加した。



記念印、ソルトレイクシティ、2002.3.7、大会のロゴ
開催国アメリカからパラリンピックの記念切手の発行は無かった(オリンピックの切手発行あり)。

アルペンスキー
チェコ(2002)



アルペンスキー(チェアスキー)
初日記念印:車椅子、ラトビア(2002)

4. 冬季パラリンピック

障害者スポーツ

4-8 第9回トリノ大会(2006)

39か国・地域から477名の選手が参加した。本大会より新競技として、車椅子カーリングが加わった。メキシコ・モンゴルが冬季大会に初参加した。小林深雪(視覚障害・バイアスロン)が長野大会に続き、金メダル獲得した(タイトルリーブ参照)。



大会のロゴ、イタリア(2006)



切手・初日記念印共にアイススレッジスホッケー、チェコ(2006)

4-9 第10回バンクーバー大会(2010)

44か国・地域の507名の選手が参加した。NHK総合テレビでアイススレッジホッケーの決勝(アメリカ×日本)が生中継された。冬季パラリンピックにおいて、競技が生中継されるのは初めてであった。



アルペンスキー(チェアスキー) 寄付金付き切手、ドイツ(2010)



大会のロゴ オランダ(2010)



アルペンスキー(3トラック・スキー) 初日記念印:ヘルメット、スイス(2010)

バンクーバーオリンピック及びパラリンピックの小型シート(FDC)

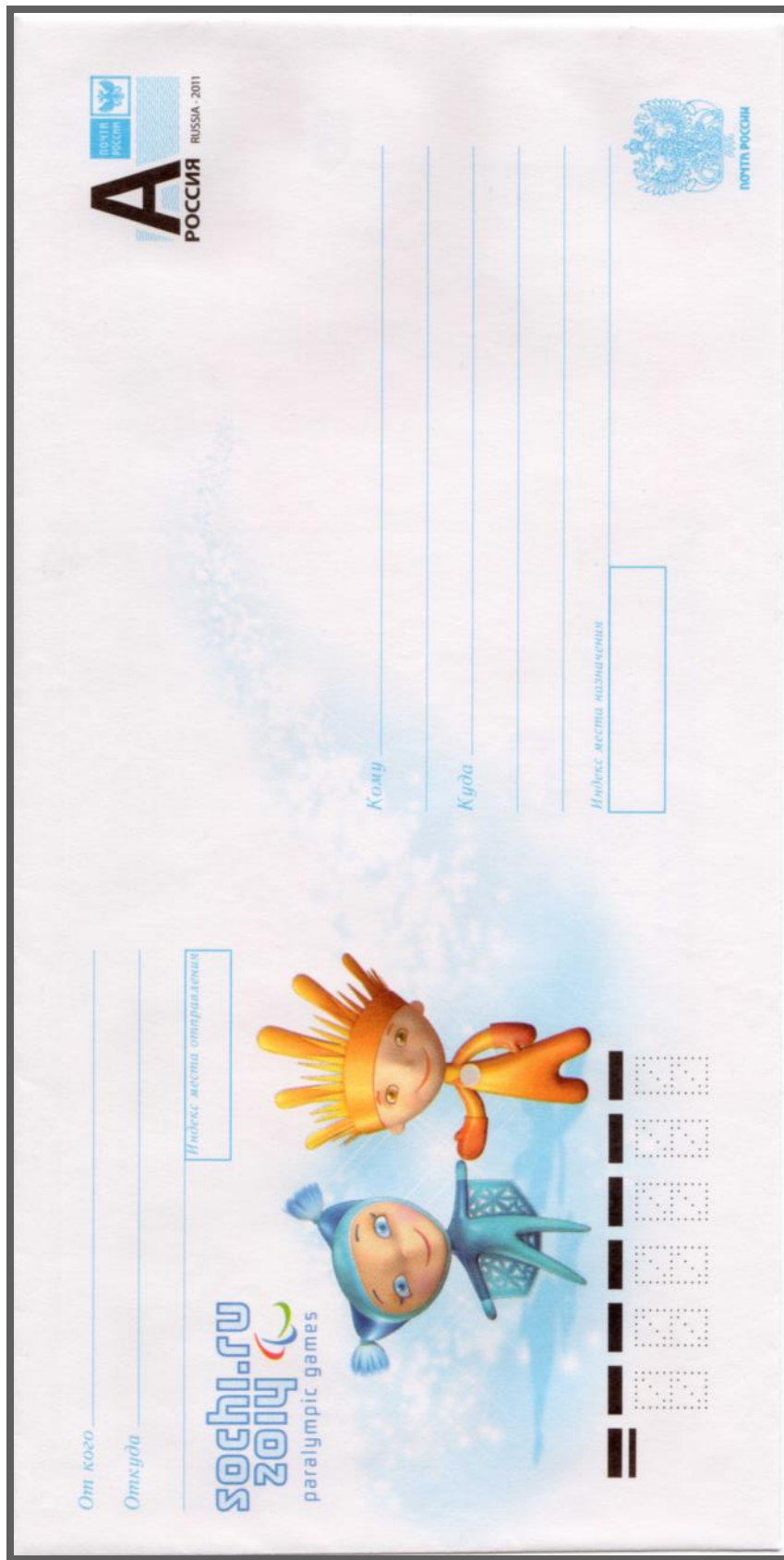
シート上段に大会のマスコット。下段中央の切手に車椅子カーリングが描かれる。初日記念印の左に車椅子カーリング

カナダ(2009)



4-10 第11回ソチ大会(2014)

45か国・地域の約550名の選手が参加した。NHKでは、開会式の模様を冬季大会では地上波で初めて生中継した。大会のマスコットはRay of Light(男子)と Snowflake(女子)である。



切手付封筒、挿絵に大会のマスコット、ロシア(2011)



切手・初日記念印:大会のマスコット
ロシア(2012)



アイススレッジホッケー
テート・ベッシュ(6枚ブロック)
チェコ(2014)

パラリンピック以外の身体障害者の国際スポーツ大会として、アジア・南太平洋地域のフェスピック(現・アジアパラ競技大会)が知られており、切手発行件数も多い。競技種目別の国際大会も多数行われている。

5-1 フェスピック及びアジアパラ競技大会(1)

フェスピックはアジアおよび太平洋地域の障害者スポーツの総合競技大会で、1975年から2006年まで9大会が開催された。欧米に比べて障害者アスリートの競技機会が限られていたアジア・太平洋地域において、中心的な地域別国際総合競技大会として機能し、アジアパラ競技大会の先駆となった。



小型印、大分、車椅子槍投げ



小型印、別府、車椅子アーチェリー

第1回別府大会

開催期間1975.6.1~3、参加18カ国、参加選手973人。

中村裕(整形外科医、社会福祉法人・太陽の家の創設者)の尽力により同氏の出身の大分県で開催された。車椅子の四肢麻痺者だけでなく、視覚障害者、聴覚障害者、切断者、脳性麻痺者など様々な障害をもつ選手が出場した。



第3回香港大会 開催期間1982.10.31~11.7、参加23か国、参加選手744人であった。なお、第2回パラマッタ大会の記念切手発行は行われなかった。車椅子卓球(30¢)、車椅子レース(\$1)、車椅子バスケット(\$1.30)、車椅子アーチェリー(\$5)、香港郵政の公式FDC(左辺一部を折り込む)

5-1 フェスピック及びアジアパラ競技大会(2)

第5回神戸大会 我国で2回目の開催。開催期間1989. 9. 15～20、参加41カ国、参加選手1646人



切手:車椅子レース、初日特印:大会のロゴ



須磨北局・風景印:大会のメイン会場の神戸総合運動公園陸上競技競技場、小型印:大会のロゴとマスコット



←第6回北京大会 開催期間1994. 9. 4～10
参加42カ国、参加選手2081人
切手・初日記念印とも車椅子レースを描く、MC

第7回バンコク大会 開催期間1999. 1. 10～16
参加34カ国、参加選手2258人
本大会開催に合わせてアジア太平洋障害者の10年の特殊切手がタイ及びインドネシアで発行された。



車椅子レース
タイ(1999)



左:車椅子砲丸投げ
右:車椅子と大会のメダル
インドネシア(1999)

5-1 フェスピック及びアジアパラ競技大会(3)

第8回釜山大会

開催期間2002. 10. 26～11.1、参加40カ国、
参加選手2199人。



松葉杖と羽根、韓国(2002)

第9回クアラ Lumpur 大会

開催期間2006. 11. 25～12.1、参加33カ国、参加選手
3641人。フェスピック最後の大会で、アジアパラ競技大
会にその歴史が引き継がれた。



FDC、左より車椅子バスケット、水泳(上肢切断)、車椅子
テニス。初日記念印:大会のロゴマークが描かれる。
マレーシア(2006)

←小型シート

切手:車椅子バスケット、シート余白:大会のマスコット



広州2010アジアパラ競技大会

アジアパラ競技大会は、アジアパラリンピック委員会が主催するアジア地域における障害者スポーツの総合競技大会。フェスピックが第9回まで行われ、2010年からアジアパラ競技大会に引き継がれた。直前のアジア競技大会と同じ会場で実施。開催期間2010.12.12～19、参加国41カ国、参加選手・役員約4000人。



大会のロゴマーク。12面シート下段。シート余白に大会の競技種目が描かれる。中国(2010)

5-3 その他の国際大会(1)



世界身体障害者
競技大会
車椅子槍投げ
(切手・初日記念
印共)

フランス(1970)



ハイデルベルグ国際車椅子マラソン
記念印
車椅子レースと市街地が描かれる
ドイツ・ハイデルベルグ(2001.5.20)



IPC陸上競技世界選手権大会
車椅子レース、フランス(2002)
※IPC:国際パラリンピック委員会

第20回大分国際車いす
マラソン大会
九重連山を背景に車い
すマラソン選手を描く。
上段:小型印(初日印)
下段:ゆうペーン表紙
日本(2000)



第3回ASEANパラゲーム 見本(田型)

左:左上肢切断者の陸上競技、右:車椅子レース、フィリピン(2005)



5-2 コモンウェルスゲームズ

コモンウェルスゲームズ（Commonwealth Games）は、イギリス連邦に属する国や地域が参加して4年ごとに開催される総合競技大会である。オリンピック競技のほか、英連邦諸国で比較的盛んなローンボウolz、7人制ラグビー、ネットボールなども行われ、障害者スポーツも行なわれる。



第4回大会
車椅子バスケット
ニュージーランド(1974)



第15回大会、FDC
車椅子マラソン(田型)
初日記念印:大会のロゴ
カナダ(1994)



第17回大会、マン島郵政の公式FDC
全6種のうち、車椅子マラソンの切手が発行(右下)
初日記念印:大会のロゴ、マン島(2002)



第17回大会、車椅子のレース、イギリス(2002)

5-3 その他の国際大会(2)



世界車椅子バスケットボール選手権大会
車椅子バスケットを描く。
初日記念印:大会のロゴ、日本(2002)



IPC世界卓球選手権卓球
(左) 松葉杖の卓球、(右) 車椅子の卓球、
初日記念印:車椅子の卓球、台湾(2002)



第3回IBSAブラインド・サッカー世界選手権優勝記念
アルゼンチン(2003)
ブラインド・サッカーのフィールド・プレーヤーを描く。
額面の0.75の点字エンボス



ブラインド・サッカー世界選手権大会(2005)、小型シート
(切手)ブラインド・サッカーのフィールド・プレーヤー、(初日記念印)サッカーボール

6-1 全国身体障害者スポーツ大会(1)

1964年の東京オリンピック後、東京パラリンピックが開催され、それが成功したことから、身体障害者にスポーツを通しての喜びを分かち合ってもらいたいという趣旨で、第20回国体開催地岐阜で第1回大会が行われた。以降、開催は秋季国体の開催終了後に国体の会場と同じ施設を使って2日間に渡り開催された。2001年以降は、全国知的障害者スポーツ大会と統合され、全国障害者スポーツ大会になった。



第4回大会(福井県)
小型印、福井、1968
大会のロゴと車椅子バスケット描かれる。



第9回大会(千葉県)
小型印、千葉、1973
大会のロゴと波が描かれる。



第8回大会(鹿児島県)
小型印、鹿児島中央
大会のロゴと桜島が描かれる。



第11回大会(三重県)
小型印、津、1975
伊勢エビが描かれる。



第18回大会(島根県)
小型印、松江、1982
県花ボタンと大会のロゴが描かれる。



第24回大会(京都府)
小型印、大將軍、1988
車椅子に乗ったマスコットと
金閣寺が描かれる。

6-1 全国身体障害者スポーツ大会(2)

全国身体障害者スポーツ大会では開催県の大会実行委員会などが会期に先立ちエコー葉書を発行し、大会の周知活動を行った。

第22回大会(山梨県)、大会の小型印を押印
大会のロゴが描かれる。
エコー葉書の発行は昭和61.4.1



第29回大会(徳島県)
初日印
(徳島中央・風景印)
大会のロゴが描かれる。



第19回大会(群馬県)
初日印(前橋)
車椅子バスケットが描かれる。

6-2 全国障害者スポーツ大会

全国障害者スポーツ大会は2001年(宮城大会)に設立され、それ以前の全国身体障害者スポーツ大会と全国的障害者スポーツ大会の2大会を一つにまとめて、障害者に対するスポーツの普及、また、障害者の社会参加推進、さらにスポーツを通しての友情と国民のバリアフリーの意識を高めてもらおうと企画された。開催は毎年、国体秋季大会の終了後に国体の会場・施設を使って開催される。



第1回全国障害者スポーツ大会、2001、(切手)連刷、左:フライングディスク、右:車椅子レース
FDC (左)手押し特印:大会のロゴ、(右)押し機特印:車椅子レース



第13回全国障害者スポーツ大会

小型印(光が丘)

フットベースボールとソフトボールは全国障害者スポーツ大会のみの種目である。

大沢 秀雄 様

デフリンピックとは4年に1度、世界規模で行われる聴覚障害者のための国際総合競技大会である。夏季大会は1924年にパリで第1回大会が行われた。冬季大会は1949年にゼーフェルトで第1回大会が行われた。設立当初は国際ろう者競技大会という名称であったが、1967年に世界ろう者競技大会 (World Games of the Deaf) に名称変更、さらにIOCの承認を得て、2001年よりデフリンピックの名称となった。

第11回世界ろう者競技大会 (ベオグラード、1969)



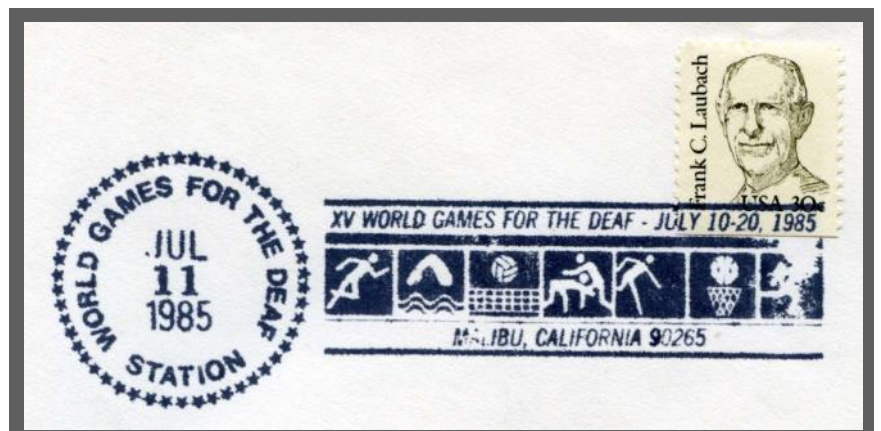
第12回世界ろう者競技大会 (マルメ、1973)



記念印、MALMO, 1973.7.20
ハードル競技が描かれる

小型シート
大会の記章が描かれる。
切手発行のあった最初の大会

第15回世界ろう者競技大会 (ロサンゼルス、1985)
記念印
競技種目が描かれる



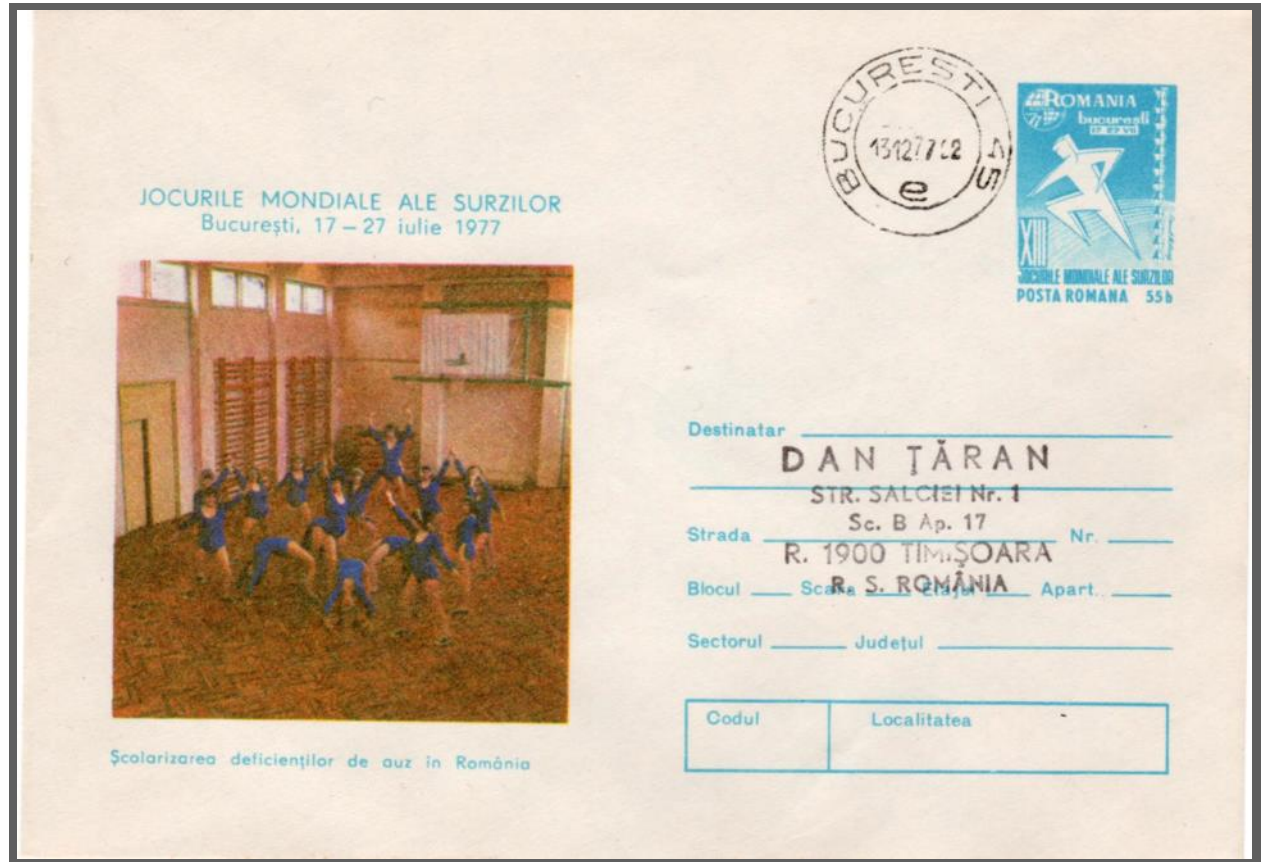
7. デフリンピック(2)

第13回世界ろう者
競技大会
(ブカレスト、1977)

切手付封筒

印面:
大会のロゴマーク

挿絵:体操



第16回世界ろう者競技大会
(クライストチャーチ、1973)

記念印
大会のロゴマーク

第16回デフリンピック冬季大会
(ソルトレイクシティ、2007)

記念印、大会のロゴマーク

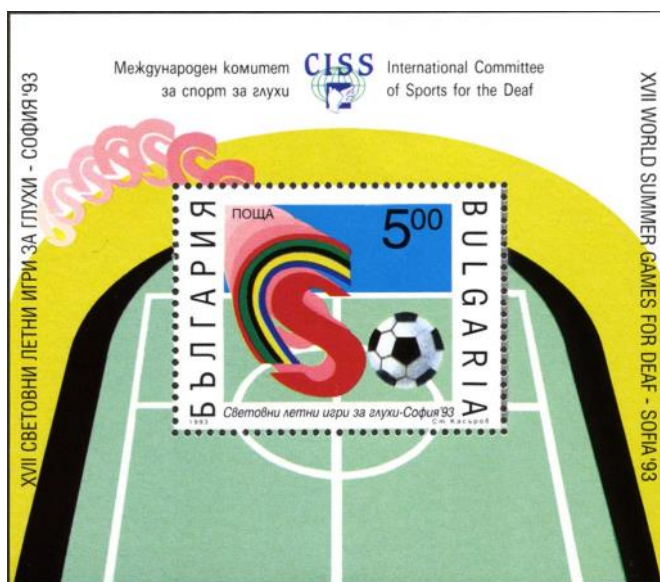


7. デフリンピック(3)

第17回世界ろう者競技大会(ソフィア、1993)



陸上競技



サッカー



水泳



自転車



テニス

耳の形と「S」がデザインされている。

第21回夏季デフリンピック(台北、2009)



5元:台湾の地図、音の波紋の背景にバドミントン・陸上競技を描く。

25元:耳のイメージ(蝸牛の回転)の背景にテコンドー・テニスを描く。

記念印(左):台北臨時局

大会初日の記念印(陸上・テコンドー)、(右):大会最終日の記念印(サッカー)

スペシャルオリンピックス (Special Olympics, SO) とは、知的発達障害のある人の自立や社会参加を目的として、日常的なスポーツプログラムや、成果の発表の場としての競技会を提供する国際的なスポーツ組織。

8-1 夏季スペシャルオリンピックス

第1回大会は1968年にアメリカ・シカゴで開催され、これまで、13回の世界大会が開催されている。

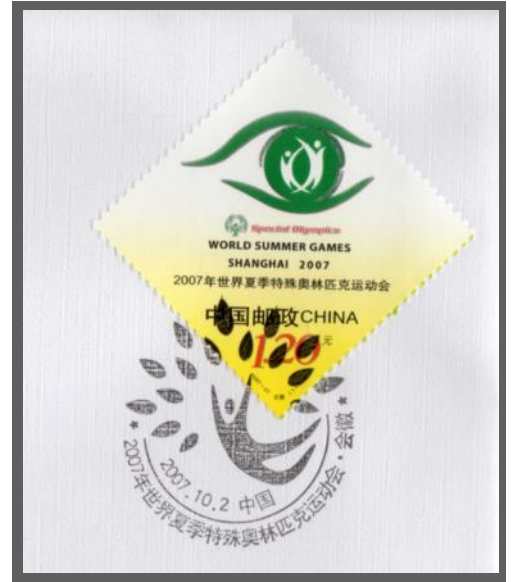


第4回大会 (1975)
ミシガン州で開催



SOのロゴ
ベルギー (1990)

第12回大会
上海 (2007) で
開催。
切手: 眼の中に
大会のロゴ
初日記念印: 大会のロゴ



記念印
スペシャルオリンピックスのロゴ
ポーランド (2005)

スペシャルオリンピックスのロゴ
モナコ (1995)



スペシャルオリンピックスの表彰式とロゴ

アメリカ (2003)

実郵便 (航空便)
ニューヨーク
→ 日本

8-2 冬季スペシャルオリンピックス

第1回大会は1977年にアメリカ・コロラド州で開催され、これまで、10回の世界大会が開催されている。

第3回大会(コタ州)
大会のロゴと競技者
アメリカ(1985)



第5回大会、ザルツブルク
アルプスと大会ロゴ
初日記念印:大会ロゴ
オーストリア(1993)



第8回大会(長野)
小型印、長野中央、2005
フィギアスケート
長野東、白馬、牟礼局で
も使用

第10回大会(平昌)
競技風景が描かれる
韓国(2013)



スペシャルオリンピックス
2000のための
気球郵便

記念印:スぺ
シャルオリ
ンピックスのロゴ
を描いた気球

オーストリア
(2000)



1. LUNGAUER BALLONPOST
für Special Olympics 2000
INFORMATIONEN ÜBER DEN LUNGAU:
A-5582 LUNGAU · SalzburgerLand
Tel.: 06477/8988 · Fax: 06477/8988-20
Europa-Vorwahl: ++43 (0)
e-mail: info@lungau.net
Internet: www.lungau.co.at.

WILHELM BUCHEGGER